

会議結果（要旨）

会議名	第16回 余市町地域公共交通活性化協議会
開催日時	令和4年6月17日 午後1時30分
開催場所	余市町役場 301・302号会議室
出席者	委員：出席21名（代理出席含む） 欠席6名 随員・オブザーバー計3名
会議内容	<p>1. 開 会</p> <p>2. 報告事項</p> <p>①委員の就任について【資料1】</p> <p>②余市循環線の運行状況について【資料2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・余市循環線についての経過説明 ・2か月間の運行状況について乗降者数、利用者のご意見について報告 ・運行計画の修正検討は別途分科会にて検討する旨を説明 <p>3. 協議事項</p> <p>①余市町地域公共交通活性化協議会設置要綱の一部改正 （余市町地域公共交通活性化協議会の位置付けの変更）【資料3】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・改正の背景について説明 1：根拠法として道路運送法を増やしたいこと。 増やすことで今後申請手続き等で弾力的な対応が可能となる。 2：会計を持つこと。 今後法改正の影響で、会計を協議会で持つ必要があるため。 <p>監事として余市観光協会選出の高野委員、余市町社会福祉協議会選出の久保委員を選出</p> <p>②余市町地域公共交通網形成計画の見直しについて【資料4】</p> <p>見直し理由について説明</p> <ul style="list-style-type: none"> 1：法改正により計画と補助制度の連動が必須となり、余市循環線について当初案ではなく、現運行案へと記載変更が必要となったこと。また、必須記載事項が増えたことで、それに対応をすること。 2：新型コロナウイルス感染症感染拡大前に策定した計画であり、いくつかこのコロナ禍により実行ができていない・遅れている取組があるため、その実施時期や手法について見直すこと。 3：北海道新幹線延伸に伴う並行在来線問題により、バス転換の方針で決定したため、これに合わせて文言を整理すること。 <p>また、バス転換の方針決定については、本協議会とは別の会議で検討を進めその上で本協議会と連携を図ることを説明</p> <p>4. その他</p> <p>経費委員：全国先進事例について説明 （事務局）スケジュールアナウンス</p> <ul style="list-style-type: none"> ①循環線について ➡ 7月までの運行状況を見て8月分科会予定 ②郊外部交通について ➡ 8月より随時分科会等により検討 <p>5. 閉 会</p>

出された 意見等 (要旨)	<p>■協議事項</p> <ul style="list-style-type: none">・計画としてはよくできていると思う。やってみなければという点が多く、即良いか悪いかではなく、やってみましょうという計画ではないかと考える。・確保維持計画 P2、維持経費の部分、現在も運行赤字については町負担があると思われ、これが改善されればよいと思う。差額について余市町が負担するとはおおむねどのくらいを想定しているか。現在との比較でおおむねで結構なので伺いたい。<ul style="list-style-type: none">➡ (事務局) 計画の P18 に、旧協会病院線に対し 500 万町から補助を出していたことを記載させていただいており、赤字の満額補填とはなっていない。・確保維持計画 P3「通院患者や～車いすを～」とある、どんなイメージをしたらいいか。<ul style="list-style-type: none">➡ (事務局) 座席を 2 つ跳ね上げ車いすを固定できる。着脱式スロープも装備している車両が、余市循環線に配備された。・車いすを載せる際に現在までの運行の中で混雑状況等問題ないか。<ul style="list-style-type: none">➡ (内海委員) 冬期間に入り大幅に混雑した場合はわからないが、現在の乗降数を踏まえると、車いすが乗ってもスペースは十分確保できると思われる。
---------------------	---